

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 華陽フロンティア高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月19日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 華陽フロンティア高等学校 本館1階 会議室
- 4 参加者

会長	安田 和夫	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
副会長	廣瀬 富久夫	本校同窓会 会長
委員	臼井 悟	鷺自治会連合会 会長
	井上 京子	本校校友会 会長
	並木 綾	本校PTA 会長
	南谷 東子	人権擁護委員
	富田 精詳	岐阜南署地域課鷺駐在所 所長
学校側	早矢仕 賢治	校長
	小坂 茂樹	事務部長
	浅井 智世	副校長
	美濃島 広幸	教頭(定時制課程)
	瀨瀬 サオリ	教頭(通信制課程)
	山村 奈美子	教務主任(定時制課程)
	矢野 陽介	生徒支援部長(定時制課程)
	高橋 睦志	進路支援部長(定時制課程)
	野村 直志	教務主任(通信制課程)
	立花 侑司	生徒指導部(通信制課程)
	小久江 貴子	進路渉外部長(通信制課程)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業(定時制課程)の様子等について

意見1: 一生懸命真面目に取り組んでいる様子が見られた。

意見2: 初めて定時制の授業を見たが、通信制とは雰囲気が違う。

意見3: 保護者として参観できる機会もあり良い。

意見4: 昨年度デートDVの講演をさせてもらったが、生徒はよく話を聞いていた。本日の授業の取組みも良かった。

(2) スクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて

意見1: 本校の生徒たちは、定時制・通信制ともに困難を抱えて登校をしている。教職員のカウンセリングマインドや一貫した教育方針に頼もしさを感じた。

意見2: 昨年度の通信制学校説明動画が分かりやすく良かった。周囲の様子に敏感な生徒もいるため、動画一つとってもそれに左右されるものである。

意見3: 自分の良さに気づかず、中学校までの学校生活を過ごした。過度な強制なく寄り添っ

てもらい他者から認めてもらう言葉がけをしてもらうことは大切である。それが、親より教職員に言葉をもらうことが、より大きな効果があるため、是非光った言葉をお願いしたい。

意見4：本校は施設もすばらしいが、人材環境も整っている。教職員が一人一人に合わせて声を掛けているのがすばらしい。生徒の心も育っていると感じる。

意見5：生徒だけでなく、保護者の参加できる取組みがなされており、安心できる。とても優しい生徒たちが多い学校である。

(3) 令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画について

①定時制課程（学習指導・進路指導・生徒指導・教員研修）

②通信制課程（学習指導・進路指導・生徒指導・教員研修）

意見1：通信制が今年度1クラス増の5クラスになったためか、日曜日の授業が減った。学びの保障をしていただきたい。そのためには是非、教員数を増やしていただけるよう要望する。また体育館の空調の設置もお願いしたい。

意見2：農協前のバス停が変更になると聞いたが、遠くなると登校に支障がでるのではないかと。⇒生徒指導部で注意喚起を行う。

意見3：外国人のみのコミュニティが作られがちなので、積極的に日本のコミュニティに参加できるような双方の取組みが大切で、日本語の上達にもつながる。「国際PTA」なる取組みがされていることもある。

意見4：外国人の地域行事参加については、高校には「校区」という考え方がないため難しいところもある。

意見5：定時制課程に子どもがお世話になっているが、生徒や教職員が話しかけてくれて子どもにとってありがたい。温かい学校である。保護者も安心して預けられる学校である。

意見6：自分自身、定時制の学びを通して、つらいことも乗り越える力をつけることができた。入社後すぐに辞めてしまった後輩もいたが、やりたい仕事に就くことができる人は、ごくわずかであるが、そこで頑張る生徒に育ってほしい。また学生時代の友人関係は大変重要で、通信制課程でも自分から声を掛けることも大切である。

意見7：定通教育振興会では、資格取得を支援している。日本語能力検定試験等に挑戦しているとのことであるが、是非積極的に申請させ、資格取得を推進してほしい。

意見8：特別支援教育支援員として本校で活動した学生が教員になった。「相手の心に寄り添えることが必要」と学んだことが糧になったようである。家族も含め一緒に育て合える学校である。

6 会議のまとめ

・会長・副会長に次の2名が選出され、全委員より承認が得られた。

会長：安田 和夫 副会長：廣瀬 富久夫（敬称略）

- ・今年度のスクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて全委員より承認が得られた。
- ・今年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画について、全委員より承認が得られた。
- ・本校の教育活動に寄せる期待を聴くことができる貴重な機会となった。期待される社会的役割等を常に意識しながら、学校運営を進めていきたい。
- ・委員からの意見・提言を令和8年度の学校運営に生かしていく。